

第78回機器分析技術講習会

信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門

全自動電気泳動装置MultiNA活用術 ～ゲノム編集による変異導入個体の簡便迅速選別法～

演者： 前島 希氏

株式会社島津製作所 分析計測事業部

日時：令和6年6月13日(木)13:30～14:30

場所：旭総合研究棟 3階

信州大学基盤研究支援センター
機器分析支援部門 小会議室



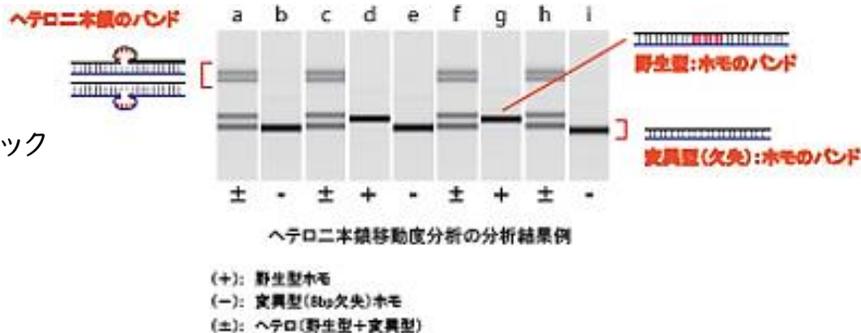
要旨

CRISPR/CAS、TALEN などのゲノム編集ツールの登場により、塩基配列の欠失や挿入が従来法と比較して簡便に実施できるようになりました。しかし、編集後の確認はDNAシーケンスで行うため、手間とコストがかかる点が課題となっています。今回のセミナーでは、標的遺伝子内に生じる欠失や挿入の有無を、マイクロチップ電気泳動装置 MCE-202 MultiNAを用いて簡便な操作で確認する事例を紹介します。併せて、MultiNAの他の活用事例もご紹介いたします

主な用途

- ゲノム編集による変異導入の確認
- 次世代シーケンサーのサンプルチェック
- ジェノタイピング

(植物、動物、魚類、微生物など)



本機器は基盤研究支援センター機器分析支援部門(松本)に設置され、共同利用可能です。
利用説明会を6月13日の14時30分(講習会終了後)から予定しています。参加希望の方は6月11日(火)までに下記申込フォームよりお申し込みください。



利用説明会申込フォーム
*6/11(火)締切
<https://forms.gle/1oMJ9UfgNR2btUdo8>

【お問合せ】

信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門
TEL : 0263-37-3097
E-mail : kikijimu@shinshu-u.ac.jp